

東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻野地研究室
助教 募集のお知らせ

- 職名及び人数： 助教 1名
- 採用予定日： 2024年4月1日以降できるだけ早い時期。
- 任期： 採用日から5年間。
更新可。ただし、1回限りとし、更新後の任期は5年とする。
更新の判断基準：従事している業務の進捗状況、勤務成績、勤務態度、健康状況、予算の状況、契約期間満了時の業務量等を考慮のうえ判断する。
- 試用期間： 採用された日から14日間。
- 就業場所： 東京大学本郷キャンパス（東京都文京区本郷7-3-1）
最寄駅：地下鉄千代田線 根津駅 徒歩12分
南北線 東大前駅 徒歩10分
丸の内線 本郷三丁目駅 徒歩15分
- 所属： 応用化学専攻野地研究室
- 業務内容： 東京大学工学系研究科応用化学専攻野地研究室における教育・研究活動に関する業務。
- 公募の概要： 野地研究室(<http://www.nojilab.t.u-tokyo.ac.jp/>)では、生体分子機械（主としてATP合成酵素）の1分子生物物理学的研究、微小リアクタを用いた超高感度バイオ分析技術（デジタルバイオ分析法）、人工細胞リアクタをもちいた機能性分子スクリーニング法、自律型人工細胞モデルに関する研究に取り組んでいます。今回、本研究室における研究及び教育活動に参画し、将来研究室主宰者を目指す方を募集します。これまでの専門は問いませんが、研究及び学生教育に熱意ある方を募集します。募集期間は2023年12月末までとし着任時期は相談に応じます。
- 就業日・就業時間： 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分・週5日勤務したものとみなされる。
- 休日： 土日、祝日法に基づく休日、12月29日～1月3日は休日。
- 休暇： ① 年次有給休暇 就業規則に基づき付与
② 特別休暇 就業規則に基づき付与
- 賃金等： 東京大学教職員給与規定の定めるところによる。
- 加入保険： 文部科学省共済組合、雇用保険に加入。
- 災害補償： 労働上の災害や通勤時の災害については、労働者災害補償保険法および東京大学教職員法定外災害補償規程により補償。
- 応募資格： 1. 研究内容に関連する分野での博士号所得者（着任までに取得見込みも可）
2. 職務内容に関連する研究を総合的に遂行できる者。
3. 大学における教育活動の意義を理解し、応用化学専攻および研究室内教育に積極的に参加できる者。
4. 当該研究室の運営ポリシーを尊重し、研究室メンバーと協動的に研究を遂行できる者。
- 応募書類： ① 東京大学統一履歴書（以下のURLからダウンロードし、作成すること。）
(<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>)
② 研究業績リスト（原著論文、学会発表、著書等）
③ これまでの研究の概要(図表を含めて、A4で3ページ)
④ 応募者に関して意見を伺える方2名の連絡先（住所、電話、メールアドレス等）
- 応募方法： 封筒の表に「応用化学専攻野地研究室 助教 応募書類在中」と朱書きし、応募書類を下記宛郵送してください。
- 応募締切： 2023年12月31日必着。ただし、適任者が見つかり次第締切ります。
書類選考の後、面接試験受験の可否を連絡します。
- 書類送付先： 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻野地研究室
担当：奥野大地、okuno.d21@smb.t.u-tokyo.ac.jp
- 募集者名称： 国立大学法人東京大学
- 受動喫煙防止措置の状況： 敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
- その他： ○東京大学はダイバーシティ及び男女共同参画を推進しており、女性や海外の方から積極的な応募を歓迎します。
○採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。
○応募書類は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示譲渡及び貸与することは一切ありません。
応募書類の返却はいたしません。当方で責任を持って廃棄します。
○勤務条件の詳細は、東京大学教職員就業規則等をご覧ください。
(http://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/reiki_int/kisoku_mokuji.html)